

2006

5月号

川上ダム通信

発行者
独立行政法人水資源機構
川上ダム建設所
〒518-0294
三重県伊賀市阿保 251 番地
TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

「ダムの日も早い完成を願う」 ～伊賀市議会第1回「川上ダム・下水道対策」 特別委員会を川上ダム建設所で開催～



委員の方々へ川上ダム事業の説明をする恒吉所長

今年度、伊賀市議会では「常任委員会」に加えて、少子高齢化対策、農林業活性化対策などの伊賀市の重要施策についての6つの「特別委員会」が新たに設置されました。川上ダム建設事業は市の重要施策に位置付けられており、下水道対策と併せて、このたび特別委員会の一つとして「川上ダム・下水道対策特別委員会」が設置されたところです。

平成18年5月31日(水)、同特別委員会の第1回目の委員会が川上ダム建設所において開催されました。恒吉所長から委員会に対して、川上ダム事業の必要性と、現況および

今年度の課題についての説明を行いました。その後、委員の皆様にはダム建設予定地やオオサンショウウオの保護池、道路工事現場など直接、ダムの現状を視察していただきました。委員からは「ダムの日も早い完成を願う」などのご意見をいただいたところです。

今後とも、地域の皆様のご協力を得て、伊賀市などの関係機関と連携し、川上ダム建設事業の推進を図ってまいります。

【工務課長 北牧正之】



道路工事現場を視察する委員の方々

～自然環境に配慮した工事を目指して～ 環境巡視を実施

川上ダム建設所では、工事实施前に専門家とともに環境巡視を行い、工事現場における自然環境の現状把握に努めています。

平成18年5月12日（金）、工事区域及びその周辺に貴重な植物がないか、元青山町立矢持小学校校長で植物の専門家である大田崇先生と環境課職員、工事課職員及び現場代理人により環境巡視を行いました。巡視を行う中で、先生から地域の自然や植物に関する話を伺うことができ、自然への理解を深めるよい機会にもなりました。

今後も専門家による環境巡視を継続するとともに、職員による環境パトロールや環境学習会などを行い、自然にやさしい工事を目指していきます。

【環境課 北村ゆき子】



環境巡視を行う大田先生、職員ら



開花したエビネ（H18.5.17）

色鮮やかにエビネが開花～保護池で～

平成15年3月に事業用地内からプランターに仮移植しオオサンショウウオ保護池敷地内で保護している多年草で希少な種であるエビネ23株の開花を5月8日に確認しました（開花時期：4～5月頃）。エビネは日陰を好む種なので、寒冷紗（カンレイシャ）で遮光して育てており、今年も順調に生育しているようです。今後は移植適地の検討を行っていきます。また、同敷地内で保護している多年草で希少な種であるササユリ（開花時期：6～7月頃）やキキョウ（開花時期：7～9月頃）も順調に生長しています。【環境課 北村ゆき子】

～新緑の高原を疾走～ 青山高原マラソン

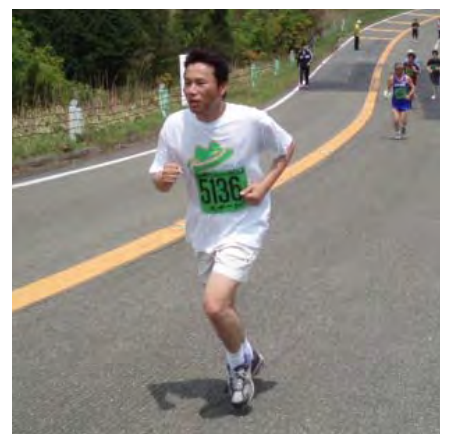


参加者と応援者で記念撮影

5月28日（日）、地元の青山高原で「第19回青山高原つつじクォーターマラソン大会」が開かれました。川上ダムからは6人が参加し、高低差の激しいコースを力走しました。

当日は薄曇りの天候でしたが、青山高原の新緑と高原からの眺望を楽しみつつ、全員が完走することができました。地元の大自然の中を走ることができ、充実した時間を過ごせました。

【総務課 武村 剛泰（通信記者）】



力走する川上ダム職員

川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線第5工区（その5）工事

平成18年度の川上ダム建設事業に係る工事で現在施工中の付替県道松青線第5工区（その5）工事についてご紹介します。

本工事の概要は、急峻な山間部に幅員が8mの道路を約240m造るものです。山側の掘削量は約25,000m³になり、谷側は補強土壁工法により盛土していくもので盛土壁面が約800m²にもなります。

本工事はこれから本格的に施工に入っていきます、平成19年3月の完成を予定しています。地域の安全に留意して工事を行いたいと思いますので、地域の皆様のご理解とご協力のほどよろしくをお願いします。 【工事課 山田英和】



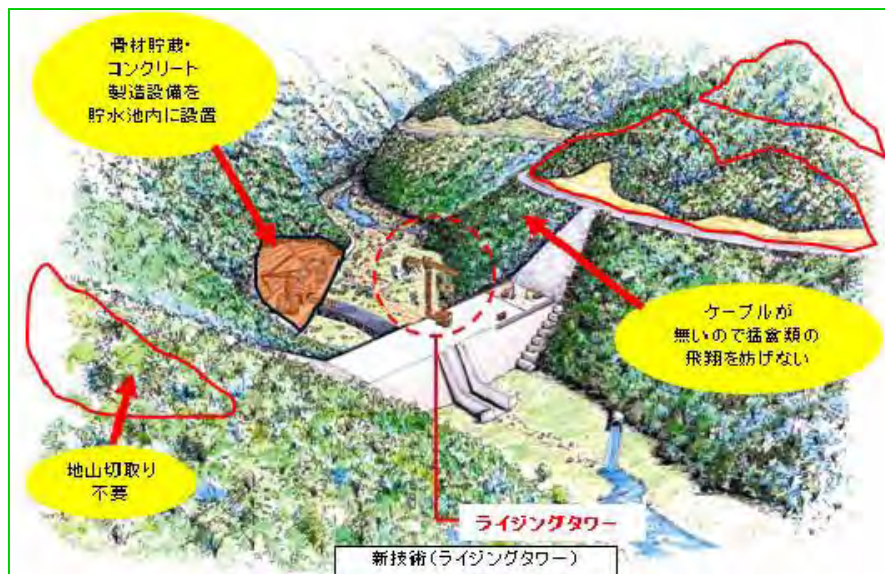
新技術の紹介 ダム用コンクリート運搬設備 「ライジングタワー」

今回は、ダム用コンクリート運搬設備『ライジングタワー』を紹介します。

ライジングタワーは、新しい発想のもとに開発されたダム用コンクリート運搬設備であり、



コンクリートの打設状況



タワー、クライミングステージ、巻上げ装置、コンクリートバケットから構成されます。従来技術であるケーブルクレーンと比較した場合、ケーブルクレーンは仮設構造物をダム天端附近に設置するため地山の掘削が必要となっていました。ライジングタワーではダム堤体上流側に配置するため地山掘削を必要としません。そのため、自然改変が少なく、またワイヤーを張らないので、猛禽類の飛翔に影響が少なくなります。 【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム (NETIS) より参照】

新コーナー「建設所紹介」 《総務課》

このコーナーでは、川上ダム建設所の職場を紹介していきます。第1回目は総務課です。

総務課長の
上村信幸です。

出納など経理の仕事をしている高田えい子です。

福利厚生など総務の仕事をしている中野由起子です。

契約全般を担当している恵谷隆伸です。

人事、研修など総務全般を担当している中川雅樹です。

予算など経理全般を担当している武村剛泰です。「川上ダム通信」の記者もやっています。



《総務課から一言》

総務課では、積極的な情報発信を行い広報の更なる充実化に取り組んでいます。今年は、地域イベントに参加し川上ダム事業の広報を行うとともに、ホームページの改編などを推進していきたいと考えています。広報を通じて、川上ダムを広く地域の皆様に知ってもらえるよう、開かれた事務所づくりを目指していきます。また、総務課は事務所の窓口なので、来所の際は気軽にお立ち寄りください。【総務課 武村剛泰】

～地域に根ざした事務所へ～ 開放トイレの設置

川上ダム建設所ではトイレを地域の皆様に開放しています。場所は入り口を入り、突き当たりの左側にあります。また、ふれあいホールにはバリアフリー対応トイレもありますので、車いすの方をはじめどなたでも安心してご利用いただけます。当建設所は地域に開かれた事務所を目指しておりますので、皆様ご利用ください。なお、ご利用の際は総務課窓口へお声かけをお願いします。

【調査設計課 立石浩行（通信記者）】



バリアフリー対応のトイレ

EVENT

名張川クリーン作戦

「名張川をみんなできれいにしよう会」が主催となり、名張川新町橋周辺のごみ収集及び水質浄化のために名張川への生活雑排水入口に木炭を設置します。

※川上ダム職員も参加予定です。

○日時／6月4日（日）9:30～11:30

○集合場所／名張市新町橋下流右岸河川敷

編集後記

先日、通信記者2名で広報紙づくり講習会を受講してきました。記事の書き方やレイアウトなど、参考になる点が多い講習会でした。この経験を活かして、より良い広報誌を作っていきたいと思います。

広報誌発行事務局

編集長	恒吉 徹（川上ダム建設所長）
デスク	上村 信幸（総務課長）
〃	北牧 正之（工務課長）
通信記者	武村 剛泰（総務課）
〃	立石 浩行（調査設計課）